

事業所名

ピュアの樹 がっけん



8月 支援プログラム



作成日

R7 年

7 月

25 日

法人（事業所）理念		こどもの生命と人権を尊重し、将来において温かくいきいきとした生活が送れるよう個々の特性に合った療育を提供します。地域に根差し寄り添いながら、様々な関係機関の皆様との連携に努めます。									
支援方針		こどもが楽しい！やってみたい！という気持ちを大切に、感覚統合理論の視点を持った遊びを、程良いチャレンジから成功体験を重ねる事で、遊びを通して感覚の発達を促していきます。									
営業時間			8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	（あり）	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	以下のような生活に必要なスキルの獲得を目指せるように丁寧にかかわります。 ・熱中症対策の為、水分補給を大切に ・挨拶をする事で、人とのコミュニケーションを取り、人との関りが楽しいと感じられる ・排泄をする（自ら申告する事や時間を合わせて、先生から促される経験を積む） ・汗をタオルで丁寧に拭く ・服をたたむ									
	運動・感覚	・感触遊びを介して、感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援する ・大型遊具に乗ったり身体をたくさん使う運動遊びを経験し、心身の発散に向けて楽しい遊びを提供する ・特性を踏まえ、感覚調整の為にバランス遊びを中心に日常生活に必要な動作などを楽しく習得していく（手と目の協応力を高める）									
	認知・行動	・夏祭り遊びを中心にブースを周り、ワクワクした気持ちを体験する ・簡単なルールや約束を守りサーキット遊びに取り組めるように、適切に関わる									
	言語 コミュニケーション	・日本伝統の盆踊りを皆と一緒に動けるように促す ・盆踊りの曲に合わせて言葉を付けていくので、徐々に発信できるように関わる									
	人間関係 社会性	・お祭りの楽しい雰囲気を経験する中で、周りを見て行動できる力を養い、徐々に社会性の発達を支援する ・皆と一緒に行動の中で、一人遊びから大人が介入して、遊びの幅を広げられるように関わる									
家族支援		・個別支援計画書に基づく6ヵ月に1度のモニタリングと相談援助を行う ・ペアトレ、保護者交流会、研修会、支援場面の参観、連絡帳、電話などを介した相談援助を行います						移行支援		地域で暮らす他のこどもと繋がりながら、生活を送ることができるように 具体的移行先との調整・支援方法の提供を行います	
地域支援・地域連携		こどもが通う保育所やこども園や幼稚園等との情報連携や、支援方法等に関する相談援助、計画書の作成や見直しに関する会議を開催します						職員の質の向上		週に1度の事業所内研修や外部講師を招いての研修を年に数回行い、職員が自信を持って支援に携われるようにしています 月例担当者会議・個人研修発表・プログラム会議・OTPTST研修	
主な行事等		・ピクニックでゴー・夏祭りお楽しみ会・水遊び・うどんかい遊び・ハロウィンパーティー・相撲大会・クリスマス会・新年書初め・昔わらべ歌あそび・節分・お別れ会 ・子育てひろばへの参画・保護者会・OT、PT、ST研修・社労士による働き方改革セミナー・虐待、拘束、安全、感染対策、BCP研修・避難訓練・幼保小学校訪問連携会議 等									

